

やまだ加奈子の

活動報告



地域防災

■ 地域防災マップ作成—まち歩き

密集事業の一環としてまちづくり協議会では「地域防災マップ作成」を行っています。今回、実際にまちを歩き危険個所や消火器の場所など地図に記して研究、発表。

地域で「防災」について考えています。



西ヶ原まちづくり協議会
「まちの探検隊！！」

■ 防災訓練

「防災の日」に合わせ、区内の自主防災組織（主に町会単位）が一斉に「防災訓練」を行います。西ヶ原地区、滝野川地区の 10 組織へ視察に回らせていただきました。訓練はポンプ操法やバケツリレー、チェーンソー実演、炊き出し、三角巾による応急手当などに加え、阪神大震災時のビデオ放映や AED（自動体外式除細動器）実演など各組織で工夫された訓練となっていました。

今後、各組織単独の訓練に加え、訓練内容や取組について意見交換や協議会の開催、また地域の学校、企業の参加の推進、ご意見としていただいた、防災倉庫や機材についての課題解決に向け取り組んでまいります。



バケツリレーの様子

■ 町会防災会議

西ヶ原西部自治会では、独自に「防災マニュアル」—災害時の役割分担や行動、消火器や消火栓の位置を記した地図を作成し、全戸配布。防災マニュアルを基に行われている勉強会に参加をいたしました。区として行っている簡易耐震診断などをはじめとする補助制度のご案内と、区として行うべき備えの充実、また何より各町会でごんばっている防災活動の支援について今後も取り組みます。



■ 地域防犯パトロール「オバパト隊」熊本市立尾ノ上小学校

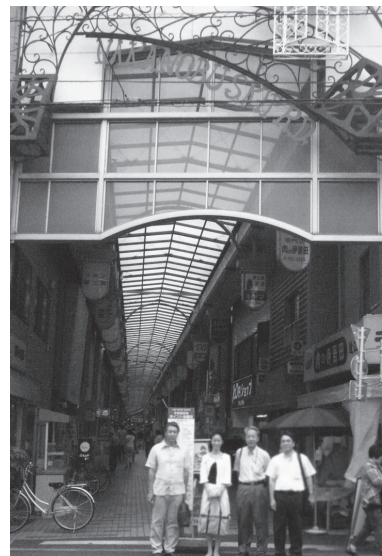
「気負わず力まず無理をせず」長く続けよう「パトロールにお金はいらぬ元気な体と心があれば」「人の子も我が家の子孫もみな同じ」「オバパト隊守るつもりが 守られる」など、のキャッチフレーズで、明るく元気に自主的に活動されている、'自称：オバタリアン' からの防犯パトロールのボランティア団体。通学路を 10m 毎に隊員が並び横断旗をもって登下校の見守り、青色灯パトロール車での巡回、地域パトロール、挨拶運動、地域安全マップの作成、警察より講師を招き勉強会と情報交換など。北区でも各自治会などで結成された防犯パトロール隊が活発に活動されています。それに加えて、オバパト隊の取組み、例えば挨拶運動や公園などの見回り、隊員の構成、その他の勉強会や情報交換会、行政、警察などとの積極的な連携についても学ぶところを多く感じました。



産業・商店会振興

■ 中延商店街視察

「街のコンシェルジュ…日常生活で不便を感じている方々を、中高年のコンシェルジュ（有償ボランティア）が支援する仕組み。家事支援（食事作り、掃除・選択など）、軽修理（電球・パッキンなどの取替え）、話し相手、送迎サービス等を有償で提供する。その対価は中延商店街の商品券に交換する事業」について視察。「高齢化社会が進展する中で、近隣に住む高齢者の支持を得られるようまちづくりを進めなければ、商店街は生き残れない。」との発想から生まれた事業を自治会の方、区の産業振興課の皆さんと勉強をいたしました。商店会の努力に加え、地域、行政の支援でまちづくりに重要な商店街活性化が行われていることを視察、今後活かしていきたいと思えます。



■ 法政大学大学院政策創造研究課

「地域産業政策」…既存産業の強化や商店会振興策、新しい産業の創出について授業を受けてまいりました。産業振興に前向きな発想で、北区が抱える産業課題と対策について研究し、政策づくり・地域づくりに活用していきます。



■ 西ヶ原銀座商栄会まつり

夏の恒例になっている商店街の「夜店大会」が 8 月 30 日に開催されました。商店会員として、少しばかりですが事前の会議や飾り付けなどに参加。スタンプラリーでは地元保育園の子ども達にお手伝いしてもらうなど、地域ぐるみで商店街を盛り上げていく事の大切さを感じました。



視 察

■ 「赤ちゃんポスト—このとりのゆりかご」医療法人聖粒会慈恵病院

報道などでは、ただ育てられない子どもを預かる「場所」として赤ちゃんポストが紹介され、預けることを推奨しているように感じられましたが、実際は出産、子育ての相談業務の徹底的なケアが行われ、できれば預ける人がいないことを願いながらの「緊急避難場所」としてできていました。赤ちゃんポストを設置するか否かについては、賛否両論ありますが、それ以前に生命の尊厳についての教育や児童相談所の周知、ボランティア団体と行政の相談窓口のネットワーク化、人材育成などが必要です。ドイツでは相談員の署名がないと、中絶できないなど、必然的に妊娠等について、相談する場面ができています。法的な整備も含め、大きな課題だと思いました。

